



スモールステップ



6月号

指導・助言の基礎・基本

校長 松井 栄人

保護者の皆様、御近隣の皆様、ならびに関係諸機関の皆様の御理解と御協力をいただき、各学部、各学年の体育発表会を滞りなく終えることができました。御参観いただきありがとうございました。今年度も運動会という形式での実施はできませんでしたが、子供たちの精一杯力を出し切ったときの爽快感や友達と力を合わせ応援する姿、友達から声援を受けさらに力を発揮する姿、協力し合う姿など、心の成長が行動へと表れていたと思います。学校生活の様々な取組みの中で心を耕していくことは、将来、社会人として生活していくうえで、重要であると確信しています。小・中学部の9年間の中での「発達課題」を系統的に受け止め、これからも児童・生徒一人一人の活動を、日々応援していきます。

さて、以前もお伝えしたとおり学校経営計画をホームページに掲載してあります。経営計画に記載したとおり、研修等を活用し教員の専門性を向上させ、児童・生徒一人一人に合わせた指導を進め、児童・生徒の社会参加に向けた系統的な指導を段階的に実施します。保護者の皆様と連携することは、効果的な指導につながります。個別面談で話し合ったことや授業参観でお気づきになったことを担任と共有し、日々の指導につなげていきたいと思えます。また、安全・安心な学校作りのための「防災教育」も大切な内容です。いつ起こるとも分からない首都直下型地震等の対応として、「共助」のための学校として役割を明確にし、同時に、避難訓練等で児童・生徒の「自助」の意識を高めていきます。今後とも、子供たちにとって充実した学校生活に御理解と御支援をお願いいたします。

本校の外部専門員を御紹介します

本校では、『教員と連携した指導体制を構築することで、教員の専門性向上を図り、児童・生徒の社会的自立に向けた取り組みを推進すること』を目的として、外部専門員を導入し、今年で10年目となりました。今年度は15名の先生方より、様々な分野に関して私たち教員が助言を受けています。この助言を、実態の把握や授業内容、実態に応じた手だて等に、活かしています。今回は先生方の中心的な専門分野について御紹介いたします。

- 臨床発達心理士1名 <アセスメントや授業観察による実態の把握及び助言>
- 作業療法士(OT)2名・理学療法士(PT)1名 <身体の使い方や感覚の課題についての助言>
- 言語聴覚士3名 <言語やコミュニケーションの課題についての助言>
- 摂食指導アドバイザー1名 <口腔機能や偏食など「食べる」ことについての助言>
- 授業アドバイザー4名 <授業観察による活動内容、教員の対応、教材のアドバイスなどの助言>
- 情報教育アドバイザー2名 <授業における情報機器の有効的な活用についての助言>
- 作業(園芸)アドバイザー1名(新規) <中学部作業園芸班の活動内容についての助言>

文責:外部専門員担当 小野寺泰子